

活気ある社会づくりと

日本語教育

外国人だけに役立つと思われるてきた日本語教育は、
じつは日本人や日本社会にとっても、身近で具体的な
効果や長期的で広範な波及効果を生み出し、今まさに
日本が必要とするものです。本シンポジウムでは、
コミュニケーション論、言語学、文化人類学の専門家や
経済人が論じ合う中で、そのことを浮き彫りにします。
さらに、日本語教育政策の現状を踏まえ、長期的で
包括的な視野に立った政策のあるべき姿について、
この課題と真剣に向き合ってきた与野党の国会議員が
論じ合います。

地域活性化

新しい発想

経済の若返り

雇用創出

自己の再発見

絆づくり

コミュニケーション力

国際化

多文化共生

ソフトパワー

プログラム (敬称省略)

- 開会式 13:00~13:20**
 ご挨拶 尾崎 明人 (日本語教育学会会長)
 山内 進 (一橋大学学長)
 財界人 (予定)
 - 基調講演 13:20~14:10**
 平田 オリザ (劇作家・演出家、大阪大学、内閣官房参与)
 「コミュニケーション力と日本語教育」
 - パネルディスカッション 14:20~16:00**
 「活気ある社会づくりと日本語教育」
 大津 由紀雄 (慶應義塾大学)
 陳 天璽 (国立民族学博物館)
 井上 洋 (日本経済団体連合会)
 コメンテータ: 平田 オリザ (劇作家・演出家、大阪大学)
 司会: 野山 広 (国立国語研究所)
 - 政策展望 16:20~17:00**
 「日本語教育政策の現状とあるべき姿」
 中川 正春 (前文部科学副大臣)
 馳 浩 (衆議院文部科学委員会 自民党理事)
 司会: 今村 和宏 (一橋大学)
-
- 総合司会: 嶋田 和子 (イーストウエスト日本語学校)

日時

2011年 6月26日(日)

13:00~17:00

受付開始 12:00

会場

一橋大学

西キャンパス 兼松講堂

●JR中央線国立駅から徒歩6分

参加費: 1,000 円

主催: 日本語教育学会 企画: 日本語教育学会「日本語教育振興法法制化ワーキンググループ」 協賛: アスク出版、アルク、くろしお出版、スリーエーネットワーク、凡人社
後援: 文化庁、内閣府(申請中)、国際交流基金、国際日本語普及協会、国際文化フォーラム、国立国語研究所、自治体国際化協会、中国残留孤児援護基金、異文化間教育学会、言語系学会連合、社会言語科学会(申請中)、地域活性学会、日本国際理解教育学会、日本言語政策学会、全国日本語学校連合会、全国日本語教師養成協議会、日本語教育振興協会、国立大学日本語教育研究協議会、大学日本語教員養成課程研究協議会

- 参加方法: メール予約 webapply@nkg.or.jp
- タイトルを「6.26参加希望」とし、お名前、ご所属を明記
- 締め切り: 4月1日(金)~6月21日(火) ● 先着600名

お問い合わせ先: (社)日本語教育学会事務局

Tel: 03-3262-4291 Fax: 03-5216-7552

★最新情報は <http://www.houseika2012.net/wordpress/>

私たちは、外国人をはじめとする情報弱者への支援、日本語によるコミュニケーション力の育成活動を通じて、震災後の社会復興に貢献します。